

北の物販倶楽部
謁見音声 書き起こし資料

2015年2月7日 謁見収録 No.03



はじめに

◎【推奨環境】

このレポート上に書かれているURLはクリックできます。できない場合は最新のAdobeReaderをダウンロードしてください。（無料）

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

◎【著作権について】

このレポートは著作権法で保護されている著作物です。下記の点にご注意戴きご利用ください。

- ・このレポートの著作権は『北の物販倶楽部』に属します。著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。
- ・このレポートの開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。
- ・このレポートは秘匿性が高いものであるため、著作権者の許可なく、この商材の全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。
- ・著作権等違反の行為を行った時、その他不法行為に該当する行為を行った時は、関係法規に基づき損害賠償請求を行う等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行う場合があります。
- ・このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。
- ・このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等がありましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。
- ・このレポートを利用することにより生じたいかなる結果につきましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。



北野会長：
座ってた？

メンバー：
いや、座ってないです

メンバー：
あの～ここに直接、集合したんです

北野会長：
あ、本当

一同：
笑

北野会長：
何？

一同：
笑

北野会長：
俺も人生短かなるわ

一同：
笑

北野会長：
言った事みんな書いたらさ、俺あれ読んだら俺、「本当にこんな俺・・・」って酔っ払ってたや
ろ？いつも？

一同：
笑

北野会長：
本当は自分が何喋ってるか、はっきり覚えてない 笑

一同：
笑



北野会長：

今日の出だしくらい時間空けといてくれりゃ、こう冷静にしゃべってるんやよ、欠点もよく映ってるね、でもたまにほら、全然種類の違った人の話聞くのもいいやろ？

メンバー：

はい

北野会長：

全くちょっと、角度が違うけど、正常な判断から、こう離れてしまって、ねえ

メンバー：

う〜ん

北野会長：

考えてる事が、働くなとかさ、動くなとかっていうタイプやから、合っとるやろ？（メンバーに）

メンバー：

思います、それ一番いいと思います 笑

北野会長：

俺に近いな、ベルギーまで行っとりゃあんま仕事ないやな？

メンバー：

はい

北野会長：

ベルギーで何、何してんの？ベルギーっちゃあ何？音楽け？

メンバー：

いや、元々、向こうのレストランみたいなところで働いてたんですけど

北野会長：

ああ〜

メンバー：

まあそれでビザが、自由なビザになったんで・・・

北野会長：



ふ～ん

メンバー：

笑

北野会長：

でも遊んどるんやろ？

メンバー：

まああんまり働いてはいないです

北野会長：

遊んどりなさい、間違いない働いてさえなかったら、金ってのは増えて行くんや

メンバー：

うん

北野会長：

このね、一言でも、あんたみたいに実行してる奴はなかなかおらんでね

メンバー：

笑

北野会長：

他の人はみんな働いとるんやろ？

一同：

笑

真田 孔明：

すぐ働いちゃう

北野会長：

働くとな、働くとどういの？徐々にだけど、忙しくなって来るやろ？で、忙しい字なんところ書いてみな？心が亡びると書く

一同：

おお～



真田 孔明：

忙しい 笑

北野会長：

忙しい忙しいって、世の中には言ってる奴おるやろ？

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

大体亡びて行っとなるのやで

真田 孔明：

なるほど〜また新しい格言が！

一同：

爆笑

真田 孔明：

格言が増えた 笑

北野会長：

いやいや、どの中見てもみんなそうや、う〜ん

メンバー：

そう、ねえ

メンバー：

やばいですよね

北野会長：

いやいや、本当よ？だからでも、う〜ん友達でもね、「いや銀行のコンペがあって」、え〜だからね、何か商工会じゃなくてね、何かあそこにも出なきゃって感じ、忙しくて忙しくてね、夜酒飲む暇もないんやて、何でお前そんなに急ぐ？「夜はおの支店長呼んで、友達となんちゃら」って、ねえ、それででもスケジュール入るのこれ？で、それを入ってるの

メンバー：

う〜ん

北野会長：



で忙しい忙しい

メンバー：

笑

北野会長：

あらもう、危ないんでない？ね、やっぱ

真田 孔明：

スープ、スープです、すいません、鳥か牛、どっちがいいですか？鳥か牛

メンバー：

鳥、鳥の方を？

北野会長：

いや全部鳥やろ

一同：

笑

メンバー：

あ、じゃあ鳥を

真田 孔明：

鳥ダメない人います？あ、いいですか？じゃあみんな鶏がらですね、あの肝臓にいいんで

メンバー：

ああ～そうですね

北野会長：

孔明、お前それ適当に決めてさ、ぱっぱっと注文してくれよ～

真田 孔明：

あ、はい

北野会長：

まずお前、ビールでも飲ましてくれるとかさ、そんなに経済苦しいの？

メンバー：

ビールだけでも先に持って来てもらおう



北野会長：

ねえ

メンバー：

ええ

北野会長：

水分やから、水飲むよりもビールの方が安全や

一同：

笑

北野会長：

ね

北野会長：

本当に、ここも冷房かかってんの？

メンバー：

そうなんですよ

北野会長：

ねえ

メンバー：

そこで、切れないのかな？でも、冷房？

メンバー：

う～ん

メンバー：

あ、それ0にすれば

北野会長：

あ！

メンバー：

切れました



北野会長：

さすが

メンバー：

おお～

北野会長：

送風だけでもいい

メンバー：

全然違います

北野会長：

多分、人間いればあったかくなるよ

メンバー：

ああ～

北野会長：

金のスイッチも今度探しといてよ 笑

一同：

笑

メンバー：

増えるように？

北野会長：

そうそう、増えるように

メンバー：

ポチって 笑

北野会長：

養殖スイッチとかや作ってさ、培養スイッチとかさ

一同：

笑

北野会長：



ね

メンバー：

笑

北野会長：

ここの店、横柄な店やね？

メンバー：

ここ広いですよね、そっち行ってこっち行って、2階フロア全部お店

メンバー：

う〜ん

北野会長：

いやまあ、忙しい忙しいってさ、ね、ずっとこうやっとなるやろ？商売？

メンバー：

うん

北野会長：

その内に、ね

メンバー：

うん

北野会長：

古くなってって、どかんと潰れる

メンバー：

おお〜

北野会長：

いやいや経済、経済の需要や

メンバー：

う〜ん

北野会長：

かなりなるんやて、決まってるん



メンバー：

う〜ん

北野会長：

忙しいっていうのは大体そういう現象が起きる

メンバー：

う〜ん

北野会長：

朝も早くからさ、晩12時頃まで働いてる人いる

メンバー：

う〜ん

北野会長：

必ず死ぬな

メンバー：

うん

北野会長：

疲労が元で

メンバー：

うんうんうん

北野会長：

本当よ？そんなね、まあ体もそうやし、機械もそうやけど、そういうところにね、もつように出来てねえ・・仕組みが・・だらだらと来とった方がええ

メンバー：

う〜ん

北野会長：

よだれでもこうたらしてさ 笑

一同：

笑



メンバー：
スカートの中入って

北野会長：
そう

一同：
笑

メンバー：
ピョッと押して！

北野会長：
そう

サッチェル：
再投資ボタンだけ押して！

北野会長：
そうそう

一同：
爆笑

北野会長：
それが一番固いわけよ

メンバー：
固いですよね？

北野会長：
固い

メンバー：
一番の重要度は、ボタンを押すだけみたいな

北野会長：
そうそう



メンバー：

笑

北野会長：

こういうね、だからいい言葉をちゃんと覚えとかにゃあかん

メンバー：

そうですね

メンバー：

う〜ん

北野会長：

ね、世間からは隠れてスカートの中に入って

メンバー：

笑

北野会長：

こういう考え方が大事だ

メンバー：

笑

北野会長：

勉強しろ！

メンバー：

ベルギー行こう

北野会長：

そうそうそう

サッチェル：

面白過ぎだな

北野会長：

経済ってのは、みんなそういう具合に回ってるわけや

メンバー：



う〜ん

北野会長：

彼は何やってんの？職業？

メンバー：

僕、あの〜孔明さんから 聞いたんですけど

北野会長：

うん

メンバー：

このメンバーで初の物販やってる人間らしいです

北野会長：

あ、本当？

北野会長：

物販

メンバー：

超、狩猟民族で・・・

北野会長：

ほお〜、何売ってんの？

メンバー：

えっとですね、婦人服です、婦人服

北野会長：

ああ〜

メンバー：

婦人服、ノーブランドですか？

メンバー：

ノーブランドです

北野会長：

ふ〜ん



真田 孔明：

ノーブランドで、よく売れますね？すごいですね

メンバー：

そうですね、それはあの～、百貨店で販売してるんです

北野会長：

ああ、でも仕入れはどうなの？あの～ブランドじゃなかったら買取でやってるの？

メンバー：

全部、オール買取です

北野会長：

オール買取で？

メンバー：

はい

北野会長：

かあ～、すごい、あんた危険やから

メンバー：

笑 危険ですね

北野会長：

危険やよ、オール買取ってのはね、俺、洋服だけは難しいと思う

メンバー：

ああ～

メンバー：

そうですね

北野会長：

俺もね、一時いい時、20店舗くらいやとった

メンバー：

へえ～



北野会長：

平成の何年くらいやった？4、5年かな？

メンバー：

ああ～

北野会長：

バブルが飛ぶぐらいまでね、飛んだ後少しだけや

メンバー：

はい

北野会長：

あれ、で、うちのシステムは仕入れがプロパーで

メンバー：

はい

北野会長：

プロパーで売った時には55、仕入れはね

メンバー：

ああ～

北野会長：

ほんで30%、ディスカウントの時は・・・うちの利益がよ？

メンバー：

はい

北野会長：

30%で売っても30%やったかな？ね、70%オープンで売っても、売り上げのやっぱ30%取ったわけ、メーカーから・・・そのやり方で返品自由や

メンバー：

う～ん

北野会長：

で、すら、返品自由でやると儲かる、洋服屋は



メンバー：

う～ん

北野会長：

ね、んでメーカーの要はね、はき場、はき場ね、メーカーのはき場に使ってもら

メンバー：

う～ん

北野会長：

そうしたら70%オフの時に、品物をダーと入れてさ、で売り上げを伸ばすと

メンバー：

売上高を？

北野会長：

そうそうそうそう、そうすると「あのお店がね、安いディスカウント今やってるから」って、人が集まるわけよ

メンバー：

う～ん

北野会長：

ところがそれをどんどんやると、今度プロパーが売れなくなる

メンバー：

ああ～

北野会長：

ね、安くなるまで待とうと、それでやられるわけね、でもそこは仕入れ・・・時価で45ぐらいで・・・じゃあなかなか出してくれんやろ？そんなもん？45で出してくれる？

メンバー：

えっとですね、本当にノーブランドで

北野会長：

う～ん

メンバー：

あの～値段があってないような感じなんですけども



北野会長：

うんうん

メンバー：

ま、プロパー価格とかもあるんですけど、あの～何て言うんですか？あの、ま、そこちょっと職人的な感じなんですけど、その値段、こうばって見たら分かるじゃないですか？

北野会長：

う～ん

メンバー：

そっから逆算さして、もう買い叩いていく

北野会長：

ほお～

メンバー：

じゃないと、このままやって行けないです

北野会長：

う～ん

メンバー：

孔明さんにも、物販で飯食ってるって、ある意味すごいですねって・・

メンバー：

笑

真田 孔明：

それ、ガチでやられてるのが！

メンバー：

笑っちゃいますね

北野会長：

全部、全部行った？行った？いや、あれ、ある？全員？（ビール）

メンバー：

全員ありますか？



北野会長：

あ、もう一個な、ん？彼んどこないしね

北野会長：

はい、はいご苦労様でした～（乾杯）

一同：

ご苦労様でした～

メンバー：

仕事したんだ？

北野会長：

いやいやいや 笑

メンバー：

よろしくお願いします

メンバー：

お疲れです

北野会長：

ああ～、何かご苦労様言うと、何か仕事終わったような感じる

メンバー：

笑

北野会長：

いや、難しいとこ勝負してるね？（婦人服）

メンバー：

難しいと思います

北野会長：

う～ん

北野会長：

あれね、バブル～ぐらいまで、バブルが2年やから、4年、5年ぐらいから一気に落ちたね、洋服屋



メンバー：

ああ～

メンバー：

そうですね

北野会長：

俺がやってる商売の中で、一番儲かっと思った時期もあった

メンバー：

おお～

メンバー：

洋服が？

北野会長：

洋服が

メンバー：

う～ん

北野会長：

60年代から、そうねえ、平成4年ぐらいまでは

メンバー：

うん

北野会長：

3年ぐらいがピークだったかな？

メンバー：

うん

北野会長：

こんなもんね、ボロ儲けやと

メンバー：

ああ～



北野会長：

なんでもいいから店舗作って売りまくれと！

一同：

笑

北野会長：

女性の服やから関係ないやで

メンバー：

ああ～

北野会長：

ね、俺はメーカーから

メンバー：

うん

北野会長：

ね、その、担当者おるやろ？その担当者、男やから

メンバー：

うん

北野会長：

まあお前、背広を・・ねえちょっと、何丁か持って来いよって

メンバー：

うんうん

北野会長：

で、それだけとって喜んどった

メンバー：

ああ～

北野会長：

いや～、でもあれはね、返品自由で頭のピンはねだけやっとならば絶対に危なくない

メンバー：



う〜ん

北野会長：

本当は・・・あれ買取やったらね、俺もそのゲーム一回変えてみたいんやけど、自分で計算できるのやから、計理士さんに、「こう買い取ったらどうなるの？」言ってみたら、「買い取ったら難しいです」とうちの計理士さんがそう言う

メンバー：

う〜ん

北野会長：

だからピンはねだけよ、選り行くでしょ？展示会行けば？だからそう選んで来たのをね・・・まあデータベースやね、データ集めて・・・だから店舗借りて女の子を雇って回す。売り掛け作ってないやろ？キャッシュオンリーやろ、そしたら・・・

メンバー：

え〜っと、半々ですか今

北野会長：

あ、本当？ほお、売掛け損も

メンバー：

うん

北野会長：

エクセルにだいたい残っとるぞ？女の人ね、払う気は全部ある人が半分

北野会長：

払いが遅れる人、やっぱ最後にカードできっちり取っとかんと

メンバー：

う〜ん

北野会長：

うまくいかん、女に食われる、女は男なんて食わん、お前いつもそっち食っとるやから

一同：

笑

メンバー：



すいません

一同：
爆笑

北野会長：
いやだから本当は、そうなる

メンバー：
うん

北野会長：
だから、金遣いが荒いのは、どんどんツケを増やす、こうゆっくり増えて行くんね、ね、で最後になったら、ちょんちょんになったら、今度ゆっくり払う・・・

メンバー：
ああ～

北野会長：
ね、ま、まあ俺みたいのやね、俺は金利払うし・・・

一同：
笑

北野会長：
まあその問題でしょ？大半は？

メンバー：
う～ん

北野会長：
さ、食べようぜ、皆さん

真田 孔明：
売上高は結構、回すだけで結構作れそうなんですけど、やっぱりあの利益、どうしようかって
ところ、やっぱりあれですよな？

北野会長：
う～ん



真田 孔明：

う〜ん、まあ僕達の会社の場合は最悪、ね、コンサル費用とか色々あの〜、ポンポンポンって
いれちゃえばいいんですよね？現金で？

北野会長：

そうそう

真田 孔明：

物とか、物と代えちゃって、さらっと・・・そういうのはあの〜、社長立ててやるじゃないです
か？（メンバーが）たとえば売上高は簡単に作れると、その利益の部分ですよね？

メンバー：

そうですね、そこがありますね、どういう風にして・・・

真田 孔明：

う〜ん

メンバー：

もう決まったんですか？社長？

真田 孔明：

今日はね・・・

メンバー：

今日見てもらって、絞って・・・

メンバー：

ああ〜、何人ぐらい絞ったんですか？

真田 孔明：

2人

メンバー：

2人、そうですね、メインは

真田 孔明：

履歴書、面白いですよ、履歴書、四柱推命のね、通りに書いてる来るんですよ、みんな

一同：

笑



メンバー：

へえ～

真田 孔明：

ほんとですよ、一個一個みてて 笑 捕らわれの通りに書いてある

メンバー：

サッチェルさんのコンサルの、メルマガで書いてたの・・・

真田 孔明：

はいはいはい、サッチェルの

メンバー：

不合格とか

真田 孔明：

笑

メンバー：

あれ、イニシャルそのまんまですか？

真田 孔明：

あれ？あれズラしてます

メンバー：

ズラしてるんですか

真田 孔明：

もちろん 笑

サッチェル：

こういう聞き方なんですよ、ね「僕、合格なんですか？不合格なんですか？」みたいな

メンバー：

イニシャル・・・

真田 孔明：

あれね、はっきり言ってあげた方がいいよね、最初に・・・



メンバー：

孔明さんが、この人は独立する可能、独立心がありますね、言ったら、あれ見たら、「将来的にも、これで自分も確立したいと思います」みたいな事書いてあって

北野会長：

ああ～

メンバー：

自己紹介で・・・こういうの普通履歴書に普通に・・・なかなか書く人なんかいないじゃない？

北野会長：

ああ

メンバー：

はいはいはい

メンバー：

うん

メンバー：

けどね、その人の、こう～向上心が、あれで資格いっぱい取ってて・・・

真田 孔明：

独立する気満々で

メンバー：

御社には腰掛のために・・・

北野会長：

うん

メンバー：

笑

真田 孔明：

よ、読み方変えると、盗んだ物は全部自分の物っていう

北野会長：

笑



真田 孔明：
全部自分の物になるんですねっていう

メンバー：
盗まして下さって書いているみたいな

真田 孔明：
う〜ん

メンバー：
社長を決めて、どんどん会社を作るのと

北野会長：
う〜ん

真田 孔明：
売上高は引っ張ってきたお金で立てると・・回して

メンバー：
そうですね

真田 孔明：
最後の利益、利益ぽんってこうつける時って、普通はどうやって考えてるんですかね？商売の利益は？

北野会長：
いやだから、会社ってのは、利益さえ上がるとれば

メンバー：
はい

北野会長：
何の問題もないわけよ

メンバー：
はい

北野会長：
で、利益ってのは、自分の財布の金を読んで書くのか、それとも先に・・先に利益をこんだけって決めてから、額算していきゃいいんでない？



メンバー：

ああ～

北野会長：

それぐらいの腹づもりがないといかん、だから、俺はほう、あんたらに言っとるのは、こう無理に売り上げを上げようとかさ

メンバー：

はい

北野会長：

それ絶対しない事

メンバー：

う～ん

北野会長：

ね、まずね会社は長い事、生きとる事が大事、一番

メンバー：

うんうん

北野会長：

生き抜く事が一番

メンバー：

うんうん

北野会長：

ね、だから適切な温度で

メンバー：

笑

北野会長：

おいしいもの食べて

メンバー：

笑



北野会長：

ね、ビールでもちびちびと飲んで、ね、これが大事やっちゅうこと

メンバー：

う～ん

北野会長：

だから、そうやってやっとなと必ずチャンスは来るんやから

メンバー：

うんうん

北野会長：

そんなにね、心配しなくても、チャンスは来る

真田 孔明：

ちびちびちびちび、サッチェル式で仕入れて売って、利益出しゃいいんだよね？

北野会長：

うん、だから、その売り上げを先に当てようと思うと、無理がかかるや

メンバー：

ああ、ああ～

北野会長：

ね、ノルマ的にか、ものをやってもダメ

メンバー：

うんうんうん

北野会長：

そうすると、必ず死ぬから

メンバー：

はい

北野会長：

そうじゃなくて、こうまず、こう平坦に今あるものから、ゆっくり・・そんなのいつのようにも
売り上げなかったって、もらった銭はもらっとるんやから



メンバー：
はい

北野会長：
ね、一年間、元本と利息払わないつもりならさ、ね、先に投資信託から金もろうたほうで、ゆっくりこうやって見とればええんや

メンバー：
笑

北野会長：
う〜ん、さっき言うたや？スカートの中に頭入れて、ボタンを押すだけやと 笑

メンバー：
笑

北野会長：
そういう明快な話をしとるよ

メンバー：
う〜ん

北野会長：
下界に下りてね

メンバー：
はい

北野会長：
人と戦おうなんてね、バカな事思っとったらひどいよ？

メンバー：
ああ、ああ

北野会長：
俺が一番、いやうちも、たくさんの会社がね、そういう事やってるけど、俺はほら、絶対、自分が仕事しないの

メンバー：



う～ん

北野会長：

仕事には向かんタイプやで、仕事に向かん、でも人に働けとも言うた事もないけども

メンバー：

ああ～

北野会長：

あ、人間ってのはほら、大体反発するんやで、働け言うとなさ

メンバー：

ああ～

北野会長：

ね、だから金を何億貯めようかなと思ったら、何億を借りてきた方が早いん

メンバー：

う～ん

北野会長：

結局ほう、堂々巡りする事が多いやん

メンバー：

う～ん

北野会長：

仕入れて売って、仕入れて売って、集めてやから、ね、だから、それをどう解消していくか、
ね、解消はできない、そのピラミッドのこう回る三角、どっちにしたって、おんなじ事をやる
んやから、結構難しいんや・・・物販は彼だけか？う～ん

メンバー：

と聞いたんですけど、違うんですか？ サッチェルさんも

サッチェル：

僕等も物販です

北野会長：

今からやるんやろ？



サッチェル：
今からです

サッチェル：
2,000万引っ張って

北野会長：
ああ

サッチェル：
札束を見ながら何しようかと

メンバー：
笑

メンバー：
物販倶楽部の割には、物販率が・・・どうですか？

メンバー：
笑

北野会長：
いや、物販が一番金引きやすいから物販だ

メンバー：
非効率ですもんね？物販？お金必要になるから

北野会長：
そうでしょ？

メンバー：
うん

メンバー：
あの～、僕があの～引っ張ってきて

メンバー：
うん

メンバー：



で、楽天トリプルに、突っ込んじゃったんですよ

北野会長：

おお～

メンバー：

いいんですか？

北野会長：

いいよ

一同：

爆笑

北野会長：

あとはだからスカートの中へ、ね、頭を突っ込んで、ボタンをそっと押しとけば

メンバー：

ああ～

北野会長：

金は増えていく

メンバー：

複利、複利ボタンですか？

一同：

笑

メンバー：

いや元々、僕、楽天トリプル入れてたんですよ

北野会長：

あ、本当？

メンバー：

はい

北野会長：

ふ～ん



メンバー：

それで、それで、で、うちのかみさんが

北野会長：

うん

メンバー：

そういうの得意で、楽天トリプルとグローバル

北野会長：

グローバルリートと

メンバー：

で、僕等の図式で5つくらい、たとえば僕が設定して、こう見せるんですよ

北野会長：

うんうんうん

メンバー：

んでその中で、楽天トリプルとグローバルですけど

北野会長：

はいはい

メンバー：

異常な、あの資産の増加だったもので、これはちょっとおかしいみたいな

北野会長：

うん？

メンバー：

話が・・・でも、グローバルは最終的にうちの親父にやらして

北野会長：

うんうん

メンバー：

楽天トリプルは、うちでやって、みたいな



北野会長：

ふ～ん

メンバー：

感じでまあ、異常、まあ異常やなとは、びっくりしたんですよ、僕も

北野会長：

ああ～、異常やね、あれタマの入り方がおかしいやね？

メンバー：

う～ん

メンバー：

増加の仕方が、普通じゃないので、これ

北野会長：

あれはだから、300兆お金持っとる人が、あれ、その100億、「は～い100億ずつやって」とかさ、ね、今あんた、500億ぐらいたま入っとるわな？あれ？

メンバー：

うん

北野会長：

変なとこにね、だからやっぱ知恵のある人は知恵のある事をする、しとるんやて、でも元々トリプルエンジンやってた言うて、なかなか鋭いやな？そんな話、俺初めて聞いた、昔から

メンバー：

う～ん

真田 孔明：

ないですね

北野会長：

う～ん

メンバー：

いや昔といっても、2013年12月ぐらいに何に入れようかみたいな話で言ってて、で1月の末、2014年の1月末ぐらい、新興国不安で

北野会長：



ああ～

メンバー：

一回落ちたんですよ、で、うちのかみさんは、何か「有り金全部入れろ」みたいな感じで

北野会長：

う～ん

メンバー：

すごいですね

メンバー：

なんですけど、ちょっと流石のそれはまずいんじゃないかってことで

メンバー：

奥さんの門なんですか？凄いですね？

メンバー：

なかなか

メンバー：

言ってももらえるの、ねえ

メンバー：

う～ん

メンバー：

もうイケイケどんどん・・・自分がたとえばいいって思ったやつは、もう行けみたいな・・・

メンバー：

ああ

メンバー：

ふ～ん、凄いですね

北野会長：

普通、信じれないとね、やっぱね、何%とかって・・・何か楽天であっても・・・

メンバー：

普通にみたらね



メンバー：

また今度連れてくるんで（妻）

北野会長：

まあ、だから洋服屋は、趣味やると

メンバー：

そうですね 笑

真田 孔明：

楽天を・・・

北野会長：

そうそうそう

メンバー：

いやでもその、何ていうんですかね？あの～、必死でやるな、みたいな言葉を、あの～聞かしていただいた時に

メンバー：

う～ん

メンバー：

何か肩の荷が、何かこう、下りたみたいな

メンバー：

ああ～

メンバー：

必死にやらんでいいんだ、みたいな・・・感じはおもいました

北野会長：

まあ、必死に働く必要はないんやで、だから伸びやかな考え方で、ゆっくりとその状態が見えるでしょ？それが一番こう目開きやから、見えてるとこ、確かにそのトリプルエンジンでもあの増加ね、おかしいやね、だから変なところから変なお金がど～んど～んとか入るわけ

メンバー：

う～ん



北野会長：

だからああやって増加するし、こう、去年なんてどうだ？さっき昨日は大体ね、50%やったっけ？うちのやつや

真田 孔明：

はい、トリプルエンジン

北野会長：

50%、これで50%なんてね、バカげたのはあんまよくないよ？俺はもう20～、まあ20%以上回ってりゃ、あとまあええなと

メンバー：

う～ん

北野会長：

あんまよくすると、爪もがすから、ね、いつも控えめで、皆さんに言う時は30%、自分は20%でいいと

メンバー：

笑

北野会長：

これくらい思うとるわけ

メンバー：

う～ん

北野会長：

高を望むと絶対に失敗する事が多い、だから何でもこう、一歩ね、前で見とら、まあイケイケばんばんで攻めになるけど、ね、平常の気持ちは・・・おらほう、貧乏やから、まあ、ね、そこそこでええやと、こう一歩下がったれば、ものすごい楽、全てが・・・

真田 孔明：

そこがすごいですよね、みんな結構、イケイケどんどんの人ってすぐね、飛ばしちゃいますから、あの～いつも引けるってのがすごいですね、頭ではわかってても、何もできないっていう笑

北野会長：

それとね、その株の売りとは、ほとんどおんなじなんや、株を売る時、ね、冷静でないとできない、頭が・・・



メンバー：
う〜ん

北野会長：
ね、だから、「あ、今日はちょっと高、高行ってるんだな」とね、今日は延びて上がったものに、それここでさ、ね、ここで売りをかける、こん時の勇気っちゃあね、本当ひどいもんだ、この売りの勇気っちゃあね、ね、さっきあなたが言ったように持ってかれたら辛いんやてね？

メンバー：
う〜ん

北野会長：
高へ持ってかれると・・・要するに次の日また上がるとね

メンバー：
うんうん

北野会長：
神経辛い、ところが株を買ってね、2円下がっても、な〜そんなに心痛まんがね

メンバー：
うん

北野会長：
売りってのはなぜか、心痛む

メンバー：
う〜ん

北野会長：
ね

メンバー：
うん

北野会長：
でもね、いや、俺の今までのけ、経験だと、まあ日本でも何回かこう、暴落ってのはやれと
るん



メンバー：

うん

北野会長：

なんせ、まあ4万円ぐらいから2万2,000円ぐらいまで、どかんと行ったんやから

メンバー：

うん

メンバー：

バブルが、こう・・

北野会長：

そうそうそう

メンバー：

よく

北野会長：

だからそんな時に、わしの友達、株やとった奴のもう7割ぐらいが

メンバー：

うん

北野会長：

第一波で、ど〜ん

メンバー：

うん

北野会長：

ど〜んど〜ん、みんなねえ、海入ったり、飛び降りたり

メンバー：

う〜ん

北野会長：

いっぱいしたんやねん、とんでもない・・

メンバー：



うんうん

北野会長：

だから、これみたいなバカな話でさ、金は返さんでいいもんやと、頭に叩き込んだかんと

メンバー：

うん

メンバー：

ああ～

北野会長：

すぐそうなるわい、ね、本当、正直構えてやっとなると、ね

メンバー：

うん

北野会長：

でさ、つけんでもええさ、嫁はんの実家までさ、担保につけてもろうてさ

メンバー：

うんうん

北野会長：

ね、さっきの言うようなみんなで、ね、手つないでさ、どか～ん

メンバー：

みんなで手つないで死んだ人も結構いますもんね

北野会長：

おるおる、うん、そんなの山や、3万人のを、あの～自殺した内のを

メンバー：

うん

北野会長：

ね、3万人自殺したんや、ね、その内の大体ね、70%以上がそう

メンバー：

う～ん



北野会長：

一番悲惨なのは、人の保証人になって飛ぶ奴ね

一同：

ああ～、う～ん

北野会長：

1円のお金も、つかんだ事ないのに

メンバー：

うん

北野会長：

そういう人ってのは純情やから

メンバー：

う～ん

北野会長：

そうなりやすいの

メンバー：

う～ん

真田 孔明：

一応、去年の2月1日から保証人制度が法律変わって

北野会長：

うん

真田 孔明：

法律上つけなくてもいいって言ってましたね？

北野会長：

そうそう

真田 孔明：

銀行はつけようと思いますよね？ 笑 知らないと思って



北野会長：

いや、でもあれは

メンバー：

うん

北野会長：

その、それが引き金ではなく

メンバー：

ああ～

北野会長：

んで、今年の4月からは、お金は俺が言うね、元本だけになる言う

メンバー：

うん

北野会長：

でも今ちょうどね、政府が起業してくれる人、会社作ってくれる人が必要

メンバー：

う～ん

北野会長：

一番、日本で一番必要なのがこれ、ね、なぜかと言うと末端の人等が上手いかん、そのまま
やと末端の、ね、たとえば年金もらった人が働きたいと思っても使ってくれる人がいないと・・・

メンバー：

うん

北野会長：

回らん

メンバー：

確かに・・・

北野会長：



ね、それで、いやもっと、その～、コンピューターが進んでさ、女の子がいなくなる、事務はいなくなる

メンバー：

うん

北野会長：

昔、給料でもさ、封筒に入れとった時は、計算する人、つめる人

メンバー：

うん

北野会長：

水戸黄門みたいな話、いっぱいあったわけよ

メンバー：

うん

北野会長：

でもないわけよ、そういうのは、だから女の職場はないわけよ

メンバー：

うん

北野会長：

ね、女は・余った女は何しとっかいて、ね、だから世界の一番最たる、大深刻になりつつあるんやから

メンバー：

うん

北野会長：

ね、離婚が一番多いの若い子は・子供持って離婚やる？ね

メンバー：

う～ん

北野会長：

だからそういう事が、今政府が一番弱っとるのはそれなんや



メンバー：

うん

北野会長：

ね、私がよう思っとるのは・・それの手助けをするには・・この私が考えたこの方法が一番楽でないかと

メンバー：

そうですね

真田 孔明：

大企業ってどんなに大きくなっても、リストラしますからね、今は

メンバー：

うん

真田 孔明：

効率化して・・雇用増えないですね

北野会長：

増えない、だからさっきの、ソニーに曰く一緒やで、ソニー1,000、1,500ぐらい切るやる？今の感じやと？

メンバー：

うん

北野会長：

この前1,200ほどやっと思った

メンバー：

ああ

北野会長：

今度1,500や、ね、だからソニーの株は、305の3、3、3と3、3、2とかあったけど

メンバー：

う〜ん

北野会長：

ね、リストラはそれくらいの、ね、効くボディブローなん



メンバー：
う〜ん

北野会長：
金払わんが、そう

メンバー：
う〜ん

北野会長：
じゃあんだ、ソニーに入った人を考えてみなよ？お前？

メンバー：
う〜ん

北野会長：
お前等ちっと俺、失礼やけど、いい大学出てさ、ソニー入っとるよ？

メンバー：
う〜ん

真田 孔明：
もうエリートですよ、みんな、ソニー受かったって言ったら・・・

北野会長：
そやる？

真田 孔明：
一番、一番の人ばかりですよね？

メンバー：
うん

北野会長：
ところがね、一番のやつは、野に放すと何にもできねえや

一同：
笑



北野会長：
だろ？

一同：
笑

メンバー：
確かに

北野会長：
だからそういうところがね、その、一番の問題なんやて、あ、今ちょっと話堅かったけど、だからみんな会社を作って、金を引いて、ね、真っ直ぐ、ね、投信で回しとけ、それが国が一番いいって言うとりんやから

真田 孔明：
税金も確実に取れるし

メンバー：
う〜ん

北野会長：
そう

真田 孔明：
20%

北野会長：
これね、大金になったのはね、あんたに言うた年、いつの年やったか知らんけど、あん時に解禁になったんやから・・・ね

メンバー：
解禁？

北野会長：
解禁、いやいや、そう下の者にも、こういう話をして、将来のラスベガスのおじさん、ハワイのおじさんみたいに作っていかなあかと

真田 孔明：
ああ〜



北野会長：

日本もね

メンバー：

うんうん

北野会長：

このままやったらさ

メンバー：

う〜ん

北野会長：

誰も育たんや

メンバー：

う〜ん

北野会長：

そやる？

メンバー：

うん

北野会長：

育たんわけよ、で育たんだらどうなるかやで、そやる？大企業なんて、どんどんどんどんリスト
トラしかないよ？

メンバー：

う〜ん

北野会長：

安くていいものを、どんどん売るわけやろ？どう思う？んなもん売れてく？んなもん売れてく
わけないやない、必ずどっかで止まるわけよ、本当よ？必ず止まる、だからぼったくりマシー
ンを作らにやあかんが・・

真田 孔明：

うんうん

メンバー：



うん

北野会長：

1円のもんを1,000円で売っとる

メンバー：

うん

北野会長：

それが商売

メンバー：

1円のものを1,000円

北野会長：

本当よ？だからそういう企業を作らない限りは、絶対無理なわけよ

メンバー：

うんうん

北野会長：

特に日本の企業は・・思わんだ？皆さんは全然そんな事、俺、昨日思ったんやけど、ね、日本をバカにしてる国、これ香港やなと・・あれだけベンツやBMWが走ってるのに、タクシーは全部こぞってクラウンやぞ？

メンバー：

うんうん

北野会長：

全部クラウンやで、昔の・・

一同：

おお～

北野会長：

ええ？

メンバー：

おお～



北野会長：

いかにお前、日本の物が壊れんかや、ベンツ見てみな？お前？そこそこお前、アクセル踏んで走ると、すぐ壊れる

一同：

爆笑

北野会長：

え？あのタクシー壊れんや

真田 孔明：

壊れない

メンバー：

う〜ん

北野会長：

で、部品がね、簡単にね、あのクラウンは特に部品がね、で、デフとかさ、すぐ変えやすいの

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

エアサスペンションじゃなく

真田 孔明：

ああ〜

北野会長：

昔のバネやから 笑 皮がもうひび割れきとっても、まだみんな走っとるんや・・・シンガポール行ったら韓国の、何やったっけ？

メンバー：

韓国のなんだっけな？

メンバー：

ヒュンダイ

真田 孔明：

ヒュンダイ



北野会長：
ヒュンダイね

真田 孔明：
あ、シボレーがちょっと多いか？ね

北野会長：
う〜ん

真田 孔明：
アメリカ・・

北野会長：
ふらふらと遊んでさ、そんなの見とけば結構見える

メンバー：
う〜ん

北野会長：
それと、心の余裕だもんでさ・・

真田 孔明：
う〜ん

北野会長：
ま、必死に働かん、こうだらだとさ、ね、忙しい忙しい言うてたら、あ〜もう死ぬかな？と
こう見とりゃあな

メンバー：
笑

北野会長：
でもね、あの〜60過ぎて来ると、友達もね、本当少なくなるんやて

真田 孔明：
ああ〜

メンバー：
う〜ん



北野会長：

この、皆さんの年、40ぐらいやったらねえ、50人超えてさ

メンバー：

う〜ん

北野会長：

こう〜毎日こんなにさ、ゴルフせんか、釣りに行かんか、飲みに行かんか、ねえ

メンバー：

うん

北野会長：

こんな、ね、体もたんでないかなと思ったね、今見たら後ろ見たら女いないやろ？

メンバー：

笑

北野会長：

友達いないやろ？

メンバー：

笑

北野会長：

ね、社長連中みんな、死んだか飛んだかや

一同：

笑

真田 孔明：

イスタン、イスタンブール

北野会長：

飛んでイスタンブール

一同：

笑



メンバー：
イスタンブール

北野会長：
本っ当に40じゃ、だからええ、いい時期なんやで

真田 孔明：
うんうん、あ〜なるほど

北野会長：
60超えてみりゃもう本当、後ろ見ても女はおらんものの・・女もあれ財布の下、ぱっと閉めた瞬間におらんからね？

一同：
爆笑

北野会長：
まあ鋭いなと 笑 このね、タッチの差が同じ言う、このパタンと後ろ見たのと一緒やから

一同：
笑

北野会長：
怖いなと思うてさ

真田 孔明：
しかも未練が一切ないですね、女は？

メンバー：
笑

北野会長：
俺はほう、未練残すな金残せの方やから

真田 孔明：
ああ〜

北野会長：
ね、ああよかったなと



真田 孔明：

う～ん

北野会長：

ついこの間まで、結婚を前提にって毎日、毎日にち言うとったのにやよ？

一同：

笑

北野会長：

あまり信用のできるものではないなと、ま、でもすごいもんやね？そうやって見ると、最近は何もだから、親身にしとくかということ、こうだらだらと遊んで歩く事を親身にしとる

メンバー：

う～ん

北野会長：

友達おらのやから・・・遊ぶ・・・

メンバー：

笑

北野会長：

いや本当に少ない

メンバー：

う～ん

北野会長：

さすがにさ、あの～医者はさ、まあまあ回りがいいから、こんだけ、でも最近いるの本当、医者ぐらいやよ

真田 孔明：

ああ～医者に残ってるんですかね？

北野会長：

そうそう、ちょうど、昨日の夜やったかな？うちの顧問弁護士やった先生、何かで引っかかって今年の9月2日に、何かそれが解けるんやと・・・停止が

メンバー：



笑 あ、営業停止が？

北野会長：

ああ、営業停止が

メンバー：懲戒処分ですか？

北野会長：

そうそうそう

メンバー：

そうした懲戒処分をかけると、たとえばその～、業務停止だったら、今やってるたとえば100件だったら、100件全部やめないとイケない

メンバー：

おお～

メンバー：

その状態で3ヶ月も6ヶ月もなんで、信用ガタ落ちですよ

北野会長：

うん、そうそうそう

メンバー：

同業者の相手にされない、なかなかそんな仕事来ないんで・・・

メンバー：

へえ～

北野会長：

そういう電話入ってたよ、今の電話はどっかのママが、店飛んだママが・・・今度また店を開くから、ねえあんたまた来られみたいなのが

メンバー：

ああ～ 笑

北野会長：

だから人生はこう色々はやてね、だからいい人ほどね、ボタンと来るんやて

真田 孔明：



う〜ん

北野会長：

だから俺は絶対にそう焦ったね、そんな考え方したらあかんよと

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

ね、慌てんでもじわじわと、こう前出りゃいいし

メンバー：

じわじわとですね

北野会長：

絶対ね、売り上げなんて立てるなんてバカげた事を考えてやると

メンバー：

う〜ん

北野会長：

本当にあんた方が抱えてる1%の世界になってしまうんや

メンバー：

う〜ん

北野会長：

それ今あの〜今度、計理士さんが入って来るらしいから

メンバー：

そうですね

北野会長：

図面描いてもらうんやて

メンバー：

うんうん

北野会長：

で、一番大事なものは、図面なんやて



メンバー：

ああ～

北野会長：

ね、どうやって伸びていくとかさ

メンバー：

うんうん

北野会長：

ね、かなりスカートの際は、えらい反応しとったけど（メンバー）

一同：

爆笑

北野会長：

いやいやいや

メンバー：

いやいや、僕もずっと聞いてますよ？

北野会長：

いやいや 笑

メンバー：

笑

北野会長：

でも本当に・・・だから、やっぱ経理上の問題っていうところも大事にせな

メンバー：

う～ん

北野会長：

だから俺は、この間から言うとする、弁護士さん、計理士さん、ね、だから医者ね、それでまあ銀行、銀行家ってのは、皆さんこう大事な人要素の1個に入れとくけど

メンバー：

うん



北野会長：
これってのは別のもんよ

メンバー：
う〜ん

北野会長：
これ別の、ね、俺が越後屋なら、俺と同格のもんやから、あれは

メンバー：
う〜ん

北野会長：
ね、わかった？

メンバー：
う〜ん

北野会長：
ここは、この一説をきちっと頭の中に入れとくと

メンバー：
う〜ん

北野会長：
ね

メンバー：
う〜ん、うんうん

北野会長：
さっき言うたやん？彼が、ね、リースしとったユンボを自分のもんや言うたのと一緒やから

一同：
爆笑

メンバー：
言いますよ、それ



北野会長：

これがね、さらっと一言言えたら、あんた銀行の支店長と同格やいう事や

一同：

笑

北野会長：

わかった？

メンバー：

「いや社長、あの横になんとかリースって書いてありますよ？」 「ああ、あれは俺が書いたんだよ」 っていう 笑 「人目があるじゃんみたいな」

北野会長：

いや「そこから買ったよ」 っていえばいい

メンバー：

ああ〜なるほど 笑

メンバー：

中古

北野会長：

いや、だから、それを絶対顔色1つ変えず、サラッとと言われる、度胸と知能があればサラッと
言えるやろ？

メンバー：

う〜ん

北野会長：

ね、そうね、簡単な事や・・・だから難しく考えるから難しいの

メンバー：

う〜ん、普段遊んでないとダメだ、必死になってるとフォローしちゃう

真田 孔明：

余計な事言っちゃう！

メンバー：

余計な事言って、自分で地雷踏んで



真田 孔明：
墓穴掘っちゃう 笑

北野会長：
人間はそういう事でやっぱ失敗するから

メンバー：
うんうんうん

北野会長：
ま、みんなでとりあえず、今1億の話やけど、全部で100億引っ張ってな、で、そっと遊んでりゃいい、いやいや本当そう思わん？この100億でタマ引っ張って

メンバー：
うん

北野会長：
タマ引っ張ってから・・・そんな事を俺思ってるんやけど、ね、100億のたま引っ張ってさ、100億で2分とかあるやん、2億？

メンバー：
うん

北野会長：
ここに、ここにさ、こう2億こうやって銭でさ、取ってお前持ってみな？重いぞ？お前2億？

一同：
爆笑

真田 孔明：
毎月入って来るんですね？

北野会長：
そう

メンバー：
毎月・・・

メンバー：



毎月できるんですね？

メンバー：

そう毎月

メンバー：

持てる分、持って帰ろうよ

北野会長：

でもそれ、しんどいやろ？結構？

メンバー：

う〜ん

北野会長：

ねえ、これもう重労働やぞ？

一同：

爆笑

北野会長：

やっぱせっかくやから、やっぱそれくらいまで引っ張り上げるような感じにしとく方が面白いやろ？

メンバー：

うんうん

北野会長：

んなもん、小さな事考えて生きとっても楽しくないんだから

メンバー：

う〜ん

北野会長：

ね、で俺なんかね、いつも思うとる地球は俺の遊び場やなと、こう思って遊べば、ま、結構面白い

メンバー：

ああ〜



北野会長：

日本で遊んで・・・そうせこい事考えとっから面白くない、地球全部が俺の遊び場なん

サッチェル：

最高ですね

北野会長：

うん、さっき、どっちが、え～何か食事合いますかいって？

メンバー：

うん

北野会長：

食事合わせればいいんやから

メンバー：

笑

北野会長：

食事と女は合わせるだけ

一同：

笑

北野会長：

寛大な気持ちでそう思うんや、俺は・・・

メンバー：

う～ん

北野会長：

そう思えば、変わってくっから

メンバー：

笑

真田 孔明：

引っ張って来たお金は、すぐ入れていいわけですよ？あれ？



北野会長：
いやだから

真田 孔明：
はい

北野会長：
皆さん、言う、聞いとかれん？引っ張って来たら、現金を項目あるやろ？勘定科目に、そこに
入れとくが

メンバー：
うん

北野会長：
だ〜れもそれ、調べに来んのやから

メンバー：
う〜ん

北野会長：
調べに来ないの、だから金庫に入れとくが、金庫 笑 うちの金庫は楽天だって 笑

一同：
爆笑

北野会長：
こういう感じで考えてもらった方が楽や

メンバー：
そういう事なんですね

北野会長：
そうそうそうそう

真田 孔明：
ただ入れてくれないんですよ、借りたお金を、彼が

北野会長：
何をやっとり？お前そういうバカな事考えとったら、人生長生きできんよ？



真田 孔明：

笑

一同：

笑

真田 孔明：

まだね、こうやって残ってるんですよ、口座の中に何にも手をつけないで

一同：

笑

メンバー：

女のために使うため？プレゼントしようかなって？

メンバー：

金利は何%？

メンバー：

1.2%ぐらいです

メンバー：

1.2%・・・それは容赦なくかかって来る金だからね、置いとくと・・・

メンバー：

ああでも、焦っちゃいけない、焦らない・・・

北野会長：

焦らんと、だから楽天に入れとくが！

一同：

爆笑

真田 孔明：

ビジネス焦らないで、こっちが早めですね？

北野会長：

そうそうそう

真田 孔明：



一刻も・・

北野会長：

あれ、ビジネスやないんやから

メンバー：

うん

北野会長：

昔から言うやろ？

真田 孔明：

金庫と一緒に、金庫と一緒に不是吗？

北野会長：

そうそう

メンバー：

うん

真田 孔明：

そこら辺、ちゃんと聞いといて 笑

北野会長：

あれは・・自分の金庫やったらさ、金預けても

真田 孔明：

うん

北野会長：

貸金庫でも、金取るやろ？

メンバー：

うん

北野会長：

楽天お前入れても、金なんか取らんとよ？

メンバー：

うんうん



北野会長：
当たり前

メンバー：
手数料も取らへん

メンバー：
笑

北野会長：
ここに、右側に楽天ポイントもつくわけ

一同：
爆笑

メンバー：
あ、毎月入りますよね？あれ？

北野会長：
そうそう

メンバー：
え？楽天ポイントもつくんですか？

北野会長：
あれ金の出し入れか何かで、ポイントついとるんやと思う

メンバー：
あの～保有してても何かついた

メンバー：
へえ～

北野会長：
ああ、そうそう

メンバー：
何か・・・



北野会長：

俺のとこのは何十億かの所有しとるから、やっぱ何か、こうワイン買うとるお金は全部はポイントから

メンバー：

おお～

北野会長：

全部

メンバー：

ああ～

北野会長：

うん、SK2とかさ

メンバー：

うんうん

北野会長：

「買っといて」はい！この、はいの一言が早い言うて、よく言われた

一同：

笑

北野会長：

いかに早く返事するか

メンバー：

なるほど・・・で、きれいだねって

北野会長：

そうそう 笑

真田 孔明：

やっぱね、銀行口座にある2,000万円を引き出すのが怖いみたいなんですよ、どうやってこの引けばいいのか、その楽天から移動するまでの経路が見えない

北野会長：



あ！違うで孔明、ね、銀行から送金するは、あそこの銀行からば〜んと楽天へ、ね、わかった？
ものすごい簡単や、ね

真田 孔明：
融資を受けて入ってる銀行ありますよね？

北野会長：
その銀行から楽天へ送るの

真田 孔明：
いんですか？

北野会長：
ああ、いいよ？

メンバー：
1回個人に入れるんじゃないんですか？

メンバー：
履歴とか大丈夫なんですか？

北野会長：
いやいや、会社の名前あるんやろ？

メンバー：
はい

北野会長：
ね、真田孔明って書くやろがいよ？でそこで真田孔明バーンと送る、ね、銀行も「あの、うちのお金って、ど、ど、どうなってるの？」ってこう思うやろがいね？

メンバー：
うん

北野会長：
ね、で万が一銀行が聞いたらさ

メンバー：
うん



北野会長：

「あ、あれはあそこに、楽天銀行に預けてあるよ」って言うとな、ユニボでさえ、お前、人のユニボでさえ自分で買うたって言うんやから

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

ま、そんなもん、お金なんて絶対わからんよ？

真田 孔明：

ああ〜

北野会長：

ただの紙やで

真田 孔明：

う〜ん、確かに日本政策銀行から引っ張ってきた金は銀行関係ないですもんね

北野会長：

関係ない

真田 孔明：

う〜ん、で・・・

北野会長：

借りた銀行も関係ないんや、銀行に聞いてみられ、どこへどうやって使うとるか関係ないんや

真田 孔明：

ちっちゃいから、見ないですね

北野会長：

そんなの、ゴミと一緒にやないの？ま、髪の毛1本づつ白髪になって来て、毎日こうやって

真田 孔明：

爆笑

北野会長：

探すかいよ？



真田 孔明：

笑

北野会長：

って暇つぶしやってちゃ、それ

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

そっちの方がよっぽどおかしいやね？

真田 孔明：

う〜ん

メンバー：

だから向こうも忙しいですから

北野会長：

そうそう

メンバー：

いちいち、見ない感じしますよね、何か

真田 孔明：

引っ張って来たお金もういれた？

メンバー：

ま、あ、引っ張って、もう・・・

メンバー：

直でいれた？

メンバー：

いや、直じゃないです、一回個人に入れて・・・で、僕の中では名目としては、先に会社にお金入ってるじゃないですか？だから、返してもらってる

メンバー：

うんうん



メンバー：

感じで～まあ、税理士とかには、まあ

真田 孔明：

貸し借りになっちゃうんですね？要するに？

メンバー：

会社借入金、社長借入金を作って、その返還受けてるって言ってるんですか？

メンバー：

そういう借入じゃなくて、僕が最初に会社作った時に、お金入れてるんですよ

北野会長：

うん

メンバー：

そのお金を出した

北野会長：

うん、出した

メンバー：

個人の・・・僕・・・逆に言ったら貸し付けてる

北野会長：

貸付金返済やじゃの？

メンバー：

貸付金のあれでしょ？貸付金の、何か

メンバー：

うん

メンバー：

っていう認識で、ま、本当は借りた金を・・・

北野会長：

ああ、でも、それはそれでおうとるんやけど、これを日々やってるからね、日々、貸してない金を会社貸していくんや、わかる？、うん、ね



メンバー：

払ってまたまた貸すの？

北野会長：

いやいやだから、貸してない金を

メンバー：

うん

北野会長：

帳簿に突き上げて行くわけよ

メンバー：

おお～

北野会長：

ね

メンバー：

貸してない金を・・・ 笑

北野会長：

うん、そして銀行から金引くやろ？

メンバー：

うん

北野会長：

その時に返してもらうんや

メンバー：

おお～

北野会長：

一緒や、ゲームは一緒やで、貸してもろうたっていうゲームは永遠に続いとるわけよ

X；

うん

北野会長：



ね、んなもん帳簿に書けば、それでええんの

真田 孔明：

やっぱ税理士、キーですね？

メンバー：

う〜ん

メンバー：

税理士必要だね

真田 孔明：

税理士でも今日ね、あの〜頼んで大丈夫な人いるんで・・

北野会長：

あの、あのね、税理士にそれ言うと、税理士はそんな度胸ないから、嫌がるが

真田 孔明：

うん

メンバー：

う〜ん

北野会長：

ね、やるのはやっぱ本人、貸した言うて

メンバー：

全部本当の事言わない方がいいですね？

北野会長：

いや本当ほど怖いもんはないやろ？

一同：

笑

北野会長：

あんた本当の事、奥さんに言うとり？

メンバー：

いや〜、言えないですね



真田 孔明：
家で一番無口って？

メンバー：
爆笑

北野会長：
一緒に事なんや

真田 孔明：
う〜ん

北野会長：
そやる？返してもらった金やる？

メンバー：
はい

北野会長：
だから今度反対に、また貸付金を作るときゃええが

メンバー：
はい

北野会長：
たとえば、たとえば香港へ来たと、ね、飛行機代まで出とると、あとタクシー代、食事代、だから1回出張に行ったら、たとえば5万円、ね

真田 孔明：
うん

北野会長：
決めとくが

真田 孔明：
うん

北野会長：
ね



メンバー：

はい

北野会長：

今度これを計上すりゃいい

メンバー：

ああ～

北野会長：

紙1枚や、んなもん、出張費や

メンバー：

ああ～

北野会長：

2日言わんと3日4日、多少間違うとっても

メンバー：

笑

北野会長：

ウンボでさ間違うやつおるんや

一同：

笑

北野会長：

そんなもんねえ

一同：

笑

メンバー：

ウンボが・・・ 笑

北野会長：

宿泊費くらいお前、ねえ1日や2日伸びたって、1日伸びたら5万円や、2日伸びりゃ10万円や、
年間に10回やったら？100万円



メンバー：

笑

北野会長：

その他にお前、飲み屋も行く、スナックも行く、ママに「もう1枚領収書くれって」ママくれるわいね

メンバー：

笑

北野会長：

そやる？一杯書いて、その～貸付金やないかい会社に、簡単やんなもん、だから知恵さえつけば、なんぼでもあるわな

メンバー：

うん

北野会長：

孔明さん、わかった？

真田 孔明：

はい

北野会長：

僕は、そういう事はあんませんけども

メンバー：

はい

一同：

笑

北野会長：

そういう抜けとる事案も多いから、一応説明したんや

一同：

笑

メンバー：



ただ、僕今やってるのは正しいのか、ちょっとわかんないんですけども

北野会長：

う〜ん

メンバー：

借りて来たお金を入れて、まあ回してるわけじゃないですか？

北野会長：

う〜ん

メンバー：

んで、それをその分配金で返済してるんですよ

北野会長：

うんうん

メンバー：

だから、だから会社に戻すみたいな、分配金個人で入れて回して分配金もらうじゃないですか？

北野会長：

う〜ん

メンバー：

それを今度また、会社に毎月貸し付けて行ったら

北野会長：

うん、貸し付けて

メンバー：

それで

北野会長：

うん、大丈夫、それが一番ええ、本当はね、今あんた、金利いくらか引くか知らんけども、回数払いやったら本当は、ね、ちょっと運転して、自動的に帰って来る

メンバー：

う〜んうん



北野会長：
計算上は

メンバー：
うん

北野会長：
たとえば1,000万借りたと

メンバー：
うん

北野会長：
え～まあ何年払いにもよるけども、もらう配当を、でとるんやから、計算してみたら、計理士入れて、う～ん簡単に出るわいや、ね、それ返済金にまいとくの、ね、その確かね、俺の計算では余り出とる、いや俺もやっとりんやよ？そんなでかい銭やない、10億ほどの銭やけど

メンバー：
う～ん

北野会長：
楽天から 笑 配当金もらったやつで返済してるの、これ何やってるかって言うたら、孔明さんの好きな、ほらNPKだ、覚えた？日本ピンはね興業

一同：
笑

北野会長：
あんだけ取っとりんやいかい？差額だけ、よくせんが、ね、ところがこれ全部返したら、元本全部俺のもんやろがね？

真田 孔明：
う～ん

北野会長：
確かやろ？

真田 孔明：
う～ん



北野会長：
だから日掛け月掛け心掛けやで

真田 孔明：
う～ん

北野会長：
返せば返すほど銀行はね、びっくりするわけ、なん～で返す、「会長、力あるがですね」って
言うて、「ほう余っとるのは銭と金だけ」なんやと

メンバー：
笑

北野会長：
銭と金と、両方余っとるんやから、もうすごいよ？ダブルやからね

メンバー：
ああ～

北野会長：
1つのVはあっても2つのVは、2Vや

メンバー：
ああ～

北野会長：
これくらいやっぱ強烈なインパクト与えていくと

メンバー：
う～ん

北野会長：
余っとるのは銭だけやと

真田 孔明：
う～ん

北野会長：
この安心感で、人は付き合うのやから



メンバー：
う～ん

真田 孔明：
確かに、金がないっていう人はねえ、あれですよね？

北野会長：
そやる？

真田 孔明：
う～ん

北野会長：
たとえばさ、こりゃ、友達とおってさ、「おい、お前金持って来た?」、嫌やよこの一言、最初に聞いてみりゃ、みんな嫌やろがいよ？もう俺みたいにさ「何言うとり、お前、余っとるのは
銭だけや」ものすごい気が楽になる

一同：
笑

北野会長：
俺よりも相手がね 笑

メンバー：
ああ～

北野会長：
だから言葉ってのは、それくらい大事

メンバー：
なるほど

真田 孔明：
そこのあれで、聞いておく事ない？クリアしてるとか？

メンバー：
いや僕はもう・・・

真田 孔明：
わかった？大丈夫？ 笑



一同：
笑

北野会長：
本当はそういうね、やり方が一番いい、で今度からは今年の4月からは、あんたさっきいなかったから

メンバー：
はい

北野会長：
今言うけども、今年の4月からはそれがオープンになる、さっきも言うと思ったんやけど、元本は返す必要もない、お金ってのは、ね、あんたいくつで借りてる？

メンバー：
え〜、2,5

北野会長：
銀行から？国金から？怖い国金やね？暴力団みたいな国金してんの？

真田 孔明：
暴力団 爆笑

北野会長：
でもね、それはおそらく、まあ初めてか2回目か知らんけども、今度元本は返さなくてもいい政策も出て来るから

メンバー：
う〜ん

北野会長；
これになるとものすごいね、金の貯まり方が早いんや

メンバー：
ああ〜

メンバー：
そりゃそうですね



北野会長：
本当なるよ？

メンバー：
だって再投資、その返済額を再投資・・・

北野会長：
そう、いやいやだから、そのスカートの中でボタンを押すゲームができると・・・これを言う
るわけや、これはもう4月から・・・

真田 孔明：
複利ボタンですね？

北野会長：
そう、複利ボタンを

真田 孔明：
ええ、今まではそうは言っても複利ボタンをね、人によっては押せないわけですよね？ないと？

北野会長：
ああ～そうそうそう

メンバー：
う～ん

真田 孔明：
返済があるとね

北野会長：
うん、返済があるとだからそういう事になる

真田 孔明：
う～ん

北野会長：
ね、俺の場合は昔から・・・いやいや本当の話を言うと、昔はちょっとトラブルがあったんや

真田 孔明：



うん

北野会長：

「え？返さんがですか？」言うて、いやお前ね、そのちょっと待てって、ね、まあとりあえずその、ね、最初は転がし、転がしね、手形・・・手形6ヶ月、で利息だけ払うから、ね、6ヶ月来たらさ、「おう悪いな、元本ちょっとひどいから、もう6ヶ月飛ばしとくやで」と、6ヶ月また飛ばしとくんや

メンバー：

う～ん

北野会長：

んで、1年飛ばすんや、ね、わかるやろ？

メンバー：

うん

北野会長：

そんで1年飛ばして、今度2年目に入ったら 笑

メンバー：

うん

北野会長：

彼は必ず言うんやで、「いや今年から間違いなく、ちゃんと返してくれますよね？」って言うから、「返すよ」、ね、一応言うだけや、ただやから

一同：

笑

北野会長：

ここら辺がね、皆さんと俺の違い

一同：

笑

北野会長：

これをもう1回、1年の半年の手形まだ伸ばさせるんやて

メンバー：



う～ん

北野会長：

で俺言うんやで、「お前ね、元本1円も返しとらんけど、お前のとこにかけてる利息は」

メンバー：

うん

北野会長：

「俺全部、払っとるんやよ？」と

メンバー：

うん

北野会長：

ね、俺金余っとるから、なんなら先払いでもええわい、ここに引っかかるんやて

メンバー：

う～ん

メンバー：

金利先払いですか？

真田 孔明：

金利先払い

北野会長：

そう！

メンバー：

金利だけ先払いすればいい

メンバー：

ああ～

北野会長：

金利先に言わしたれ、まさしく海老で鯛を釣るが

真田 孔明：

海老で鯛を釣る 爆笑



一同：
爆笑

北野会長：
笑 見た？この早業？ 笑

真田 孔明：
また名言が・・・ 笑 海老で鯛を釣る 笑

北野会長：
これができるようになると、後は簡単さ、そやる？

メンバー：
ああ～そうですね

北野会長：
ね

メンバー：
元本返さなくていいんですね？

北野会長：
元本なんて、相手がだから俺が返したい言うても、相手が「いない」って言うから

メンバー：
いないって言うんですよね？

北野会長：
そうそう

メンバー：
う～ん

北野会長：
そこでお前、一番大事なのはお前、女と一緒にやねん、そこで別れるか別れんか、どっちか決めるがじゃ

メンバー：
う～ん



北野会長：

わかる？どっちが決める？、そやる？そこが人生の分かれ道、それくらいどうやって引っ張れる、引っ張るパワーさえ、知能とパワーがあれば大丈夫、ね、あんたとも今、1年据え置き
の1,000

真田 孔明：

6ヶ月据え置きの

北野会長：

あ、6ヶ月の・・

真田 孔明：

はい

北野会長；

そこで言えって、思うとったほど、上手いかなかったと

一同：

笑

北野会長：

一応、話やから

真田 孔明：

最初のうちは、銀行も上手いくと思ってないですもんね？1、2年は

北野会長：

そうそう

真田 孔明：

銀行マン言ってたのは、2年上手いかないの当たり前だと

北野会長：

うん

真田 孔明：

ね、だから赤字赤字でいって、黒字になって、3期目から黒字になればいいって考えみたいです
ね



北野会長：

そやる？

真田 孔明：

言っていましたよ、銀行マンが

北野会長：

だからこれを勝機と捕らえて、ここでお願いするんやて

真田 孔明：

うんうん

北野会長：

頭なんてお前、なんぼ下げても減るもんでないんやから

真田 孔明：

う〜ん

一同：

笑

真田 孔明：

その間、複利ボタンを押してる！

一同：

爆笑

メンバー：

クリック 笑

北野会長：

な、これってのはね、あんた達、今笑ったけど、その膨大なお金を計算してみりゃ、莫大な銭やよ？

真田 孔明：

うんうん

北野会長；

これ返しとるのと、タダもらいしとるの全然



真田 孔明：

う～ん

北野会長：

タダ乗り興業や、全然違う、だから皆さんは、細かいところには弱いや

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

何で言うたら忙しいから毎日 笑 心がほう、死にかかってるから

メンバー：

う～ん

北野会長：

貧しいから、やっぱそこら辺見えとらん、本当はだからその一言がものすごい大金を生むんや
で

一同：

ああ～

北野会長：

一言がよ？

メンバー：

うん

北野会長：

ね、あんたも言われ？買ったユニボや 笑

一同：

笑

北野会長：

俺よりもでかいけど 笑

一同：

笑



北野会長：
この一言が決まるんやから

真田 孔明：
会長、この一言が凄いですよ！

一同：
笑

真田 孔明：
クリティカルなやつが来るんですね、いつも・・・凄いそれが！

北野会長：
本当それや

真田 孔明：
うんうん

サッチェル：
銀行と交渉するの、いつも会長なんですか？それとも雇われ社長が行くんですか？

北野会長：
あのね、俺が出るよりも、お前・・・将棋でも一緒やろうが、やっぱ歩は先に置いとく 笑

一同：
爆笑

サッチェル：
なるほど、その時にどう教育するんですか？その社長達は？

メンバー：
ああ～

北野会長：
え？

サッチェル：
社長達をどうやって教育するんですか？引っ張って来いって言うんですか？

メンバー：



笑

北野会長：

そういうね、下品な事を・・

メンバー：

爆笑

北野会長：

やっぱ当社では、お金がいるから、ね、君の仕事の一番大事な事は何か言うたら銀行といい人間関係を・・

一同：

ああ～

北野会長：

そやる？いい人間関係を作る事がまず一番

メンバー：

はい

北野会長：

後は、まめによいしょにプレゼント、銀行も人の子やと、だからうちのボトルが入っところ
に、どんどん連れてってやね、接待してやよ？わからんところは銀行に書いてもらおうと、お前が
書くから融資はうまくいかんがやと

メンバー：

ああ～

北野会長：

銀行に書いてもろうてみと？相手はお前自分の好きなペーパー書くんやから、ペーパーカンパ
ニーやで

一同：

う～ん

北野会長；

こんなの簡単な事、思いつかんやろ？みんな？ 笑

真田 孔明：



下っ端のどこに行くんですか？銀行の？

北野会長：

下っ端が一番大事や

メンバー：

あ、下っ端

メンバー：

現場が大事

北野会長：

若い女の子は登竜門よ？

メンバー：

笑

一同：

ああ～

北野会長：

大事にせにゃあかん

サッチェル：

なるほど

真田 孔明：

受付とか、あそこら辺にいる

北野会長：

そう！

一同：

おお～

北野会長：

あのね、行く時は、饅頭やお菓子、ケーキの1つくらい・・・お菓子持っていければ、国金へ、
そうすりゃ全然違うんやから

一同：



笑

メンバー：

う〜ん

北野会長：

ね、「いや〜いつもお世話になっております」言うて

メンバー：

おお、やっぱ言った方がいいんですか？やっぱり？

北野会長：

そりゃそうや、商売の基本はだから、知らん？まめによいしょにプレゼント

一同：

笑

北野会長：

それがなかったら、どんだけ「きれいや」言うとっても、おだてとっても全然意味ないや

メンバー：

ああ

北野会長：

わかる？だSK2いっぱい箱に持って入れていく、高いもん入れていく

一同：

笑

真田 孔明：

楽天ポイントで 笑

一同：

爆笑

真田 孔明：

スゲー

メンバー：

そこもコストゼロ



一同：
笑

北野会長：
いや、本当はね、そういう循環が一番大事

真田 孔明：
う〜ん

北野会長：
楽天はポイントがたまって楽天はそのお金で、ね、日本政策銀行とそのお金で景気が回る、こ
うやって回るんやから、昨日も言ってたのはみんなお金を借りて、ね、まず1億借りて200万
の利息を日本の国に払いましょうと、ね、もらった3,000万から600万の税金を払え、日本の
国に800万も納税する、わしら

メンバー：
う〜ん

メンバー：
1人が

北野会長：
1人が

メンバー：
う〜ん

北野会長：
ね、そりゃお前1億を10億にしてみりゃもっとでかいぞ？

一同：
笑

北野会長：
たったこれだけよ、んなゼロのゲームやから、ゼロのゲーム、ゼロさえ受けつけりゃゼロが入っ
て来るんやから

メンバー：
うん



北野会長：

経済はただやという認識の下で、話しせんと

メンバー：

うん

北野会長：

見切りができんがね、ぱっと見切るというゼロの世界を、ぴしっとうゼロをね、どういうのかこの前も言うたんやけど、縦軸がまっすぐで、波やね、たとえば株がさ、これから上がらん、これから景気が悪くなる、そんだけや、自分の芯さえびしっと立ってれば、軸はいつも必ず見切られるはず、俺が言いたいのは、これをいっとるわけ、会社も生きとる、代表者のあなたも生きとる、借りた金は返しとらんけど、利息はきしっと払っとる

メンバー：

うん

北野会長：

一番大事なのは誰かと？そういう具合に問題を解いていけば、答えは必然としてわかるんでない？

真田 孔明：

しかも5年継続してれば、5年間ずっと払い続けてるのが10社に1社だけになって 笑 もう5年で、さらに10社1社になって、結果的に10年継続すれば、100人に1社の会社になっちゃうんですね？

北野会長：

そやね 笑

真田 孔明：

そしたら営業きちゃうんですね、やっぱり銀行の

メンバー：

やっぱりあの、貸すところに困ってますもんね？

真田 孔明：

う〜ん、メンバーにこの間、ほら謁見のお告げのセミナーの時に、目の前に座った銀行マンで「本当ね、貸すところがなくて困ってるんですよ」

メンバー：



ああ～

真田 孔明：

こういう裏側を知っても、「こういう会社に貸しますか?」、「貸します」っていうもんね

メンバー：

ああ～

真田 孔明：

方程式クリアしてるから

メンバー：

なるほど

メンバー：

う～ん

真田 孔明：

向こうも余計な事考えてないですからね

メンバー：

ああ～

真田 孔明：

営業成績ですからね、営業マン

北野会長：

会社のトップと営業とはまったく違う、会社のトップ以外の人は全部使われとる、普通の会社はね、みんな2代目3代目、せいぜい今どういの? 大手ではソフトバンク?

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

は三木谷?

真田 孔明：

う～ん

北野会長：



それからファースト・・・

真田 孔明：
ユニクロですね？

北野会長：
ユニクロ？あとみんな雇われてるんやて

真田 孔明：
ああ～

北野会長：
ね、だから俺は最初から言うとりね、金持ちはみんな無職が多いはそこなんや

メンバー：
ああ～

北野会長：
みんな金つかんだら、誰も働いとるわけない、だからみんな無職、無職・・・で無職で何しとる、
どうやって飯くっとる？無職が俺昔、政治家に聞いたら、紙、日本の紙こう出たら、ほとんどの
の人が無職やて

メンバー：
う～ん

北野会長：
たまにこう農業とかさ

一同：
笑

北野会長：
ね、会社の社長っていうのが、ぽつつらぽつつら出る、あとほとんど無職や

メンバー：
うん

北野会長：
無職しか金持ちにならん言う事や



メンバー：

ああ～

北野会長：

金持ちってのは働いとらん無職や、金持ちはでも働いとらんけど、金持ちの金は、ね

メンバー：

う～ん

北野会長：

湿度と温度をちゃんと管理しとくから

一同：

笑

北野会長：

増殖しとる・・・でもマンション買うて持っとるんやったら、あとはちびちびと引く、改装費、頼みに行きゃあ、銀行でも国金のどこでも商工中金、頼みに行くが、「金貸してね」って、頼め、このマメさが大事

メンバー：

う～ん

北野会長：

俺なんかいやいや、マンション何戸か持っとるけどね、社長さんに「あんた達は今度改装するんやから銀行でも飲みに連れてってさ、改装費を調達していくのが大事な仕事や」と、図面が欲しかったら設計士に、帳簿がいるなら計理士に

メンバー：

笑

北野会長：

各士に任しとけ

メンバー：

うん

北野会長：

ね、お前は、ただそこ指示するだけや、それを銀行に紙を一杯持って行ってさ



メンバー：

うん

北野会長：

ね、申請書は絶対お前書くな、銀行に書いてもらえ

メンバー：

笑

北野会長：

ね

メンバー：

うん

北野会長：

これを間違うと大変な事に

メンバー：

うん

北野会長：

唐辛子と胡椒間違うたみたいなものや、ね、だから相手が一番いい状態を保つ事、さっきの金の増殖と一緒にや、保温の原理なんや

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

相手が一番いい状態に置かせる、わかった？ベルギーでもちゃんと保温は大事にせんと・・・そうずっと増殖せんから、金の、ま、そこを俺しょっちゅう言うとり、俺はだから教えるじゃなくて、ね、きれいな文章をね、改装費やと、見積書？見積書はこの会社で見積もりととくとく、最初はそれでいいが、2回目からそれが嘘やないとわかったら、国はそんな事聞かんで素通りや・・・なんでしっとる？

メンバー：

ん？

北野会長：

なぜか、2回目からは、素通りなんや



真田 孔明：

へえ～

北野会長：

見積書もなんもいらん

メンバー：

う～ん

北野会長：

なんでやいうたら、ただ、ただ関係なく貸しとる

メンバー：

う～ん

北野会長：

国はさっき誰かに言うた、ノルマかかって仕事しとるんやから

メンバー：

う～ん

北野会長：

その地方のこの支店が悪かった、まず支店長がば～んや、貸し出しが一番大事なん

メンバー：

うん

北野会長：

日本の国は心臓やぞ？

メンバー：

ああ～

北野会長：

わかる？心臓から血液出たら皆んな死ぬ、だから心臓は大事なん、わかった？ 笑 そう思っ
て金借りとりゃ別に返すとかバカげた事を考える方がおかしい、そっちの方が頭せんちんぴん
や、俺から言うとや、よっぽど狂っとる

真田 孔明：



引っ張る銀行はその、国系の銀行がいいわけですね？

北野会長：

どこの銀行も一緒、どこの支店長も一緒、みんな人間、みんなセールス、心配せんでも

真田 孔明：

サラリーマン

北野会長：

だからサラリーマンとサラリーマンと酒飲んでさ、「いや～支店長の会社もひどいですね？」、「ああそうか、お前んとも、いや～そうか」、「お互いにさ、いい付き合いせにゃあかんね」とか言って、酒飲む社長用意しときゃ、そやよ、んなね金をだましとろうなんていう事を、難しい事を思うから難しいんで

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

借りて金を返すと、この気持ちをきちっと、ここから先はダメや、そこさえきちっとしとりやさ、借りたもんは返すと、ね、まず金利からと 笑

一同：

笑

北野会長：

簡単やろ？皆さんの知らん事、金を借りる事は知らん

メンバー：

う～ん

北野会長：

金を借りる話術、まず明日の朝から奥さんを見たら、「きれいですね」と、目はどこ見とってもいいから

一同：

爆笑

北野会長：

ね、2言目は「愛してるよ」と



メンバー：

笑

北野会長：

この2つが言えるようになったら、簡単に相手の交渉はできる

メンバー：

笑

北野会長：

この2つもできん、何もできるんや？そやろ？これができるようになると、結構ね 笑

メンバー：

うん

北野会長：

ジャンルは広がる

メンバー：

ジャンル 笑

メンバー：

なるほど

北野会長：

点と点見つけて、もう1つの点をみつけたら

メンバー：

うん

北野会長：

天に勝ったと一緒に、この面積を小さくする事はないんやから

メンバー：

う〜ん

北野会長：

ピラミッドのように大きく大きく育て、3角形をね、あとはこの成功例がいいな、あと軸にし
てまわしゃあさ、あっという間、簡単や、商売はそういう具合に考えると簡単、それをまあ皆
さん、こう加工して難しく難しくこう自分なりにこう、解釈して



メンバー：

う〜ん

北野会長：

俺でも、孔明さんの感動した文章あるね、自分の父と母、公務員かなんかでさ、いい学校に入っ
て、いい会社に勤めて 笑 なんやったけ？なんかそんな文章あったやろ？

真田 孔明：

はい

北野会長：

ね、借金したら早く返して 笑

真田 孔明：

早く返して

北野会長：

俺、あれ読んだらさ、まるっきり俺と反対の文章

一同：

爆笑

北野会長：

ね、いやだからこの人と会ったのも、いやいや俺腹立ったから

真田 孔明：

うんうん 爆笑

北野会長：

暇で腹立ったから、どこにいるって聞いたら、マレーシアやみたいな事書いてあったんや、ど
こからマンションね、いいマンションやねみたいな事書いたら、「今売ってるんで僕も買った
んだよ」みたいな事が書いてあるんで、でそこいって、そこいってちょうど中華食べてさ、円
卓で、「お前ら悪いけど、真田孔明言う奴が、メールかいとる奴どっか知らんかな言うて

真田 孔明：

笑

北野会長：

いや2人ほど知っとる言う人おって



真田 孔明：

笑

北野会長：

で俺、そんときに呼んでくれ言うたん、なんと生意気な間違うた事を堂々と書く

一同：

爆笑

北野会長：

いや俺があれを見ると、ものすごい全部間違うとる、文章が・・

メンバー：

う〜ん

北野会長：

ね、まそこまでは俺も、それは一部分で腹立った、もう1つは日本の国に1,000兆円言う借金
があってさ、1人800万の借金がある、俺そんな金もらった事ない、800万国から

メンバー：

笑

北野会長：

一体何を勘違いして、こいつバカな事を

真田 孔明：

笑

北野会長：

と思ったのが、そのね、そのジョホールバルに行くきっかけ

真田 孔明：

笑

メンバー：

笑

北野会長：



で、本人いたもんで、ああなんでもええわ、そんなもん1つ部屋押さえて、買っとくからどこでもいいよ、関係ないや、「お金どうしますか?」、「明日、銀行の何やら・・・そんなもん細かい銭、キャッシュでいいよ」って言うたのがきっかけで

メンバー：

うん

北野会長：

あとは、彼が出すワインに酔うてしもうて

一同：

爆笑

北野会長：

言わんでいい事まで

メンバー：

笑

北野会長：

さっきぐらい酔ってなかったら、結構正常なんやで、これからどんどんね、ワインあたり飲むと 笑 もう何言うかわからん

一同：

爆笑

北野会長：

もう最後になったら、矢でも鉄砲でももう撃って来いと

一同：

笑

北野会長：

受けてやろうみたいな事 笑 でもね、世の中ってさ、こういうまあ、あやふやな人間もおると楽しい、まあ死んだら餞別でも持って来い

一同：

笑

北野会長：



今日は先に休んでもらうて 笑 香典の先取りとか言ってさ

一同：
爆笑

北野会長：
まあ教えは教えやから、1人1億ほどづつもろうても、10億だからさ、結構明日からの旅行代金またなるやん？

メンバー：
笑

北野会長：
何が功を奏すかわからんのだから

メンバー：
うん

北野会長：
ま、今俺が思うとるのは、やっぱ、ね、印刷屋のおじさんをやっぱ、いかに買収するかとかさ

一同：
笑

北野会長：
そうやって、考えとる事は大体、それくらいのレベルやからね、今から働くなんてね考えれば普通にあるけど、いかに印刷屋のおじさんをだまかして

メンバー：
笑

北野会長：
ここにね、2億とかいうて、細かい事言わんとさ、トラックでも用意してさ

X
笑

北野会長：
あのAのトラックですとかさ



一同：

笑

北野会長：

言うぐらいの方がいいやね、だからやっぱ考え方も色々やから、ただ、あの～さっき言うたように、香港の水はバケツに1杯2杯汲んでも、どんどん各国が増刷しとるから絶対減らん、取ったもん勝ち、俺から言うと、人生は短いんやから、自分の口座に会社の口座にお金なんて置いといても絶対増えんのやから、スカートの中に適温適所でボタンを押す、これさえできん奴が何できるやがじゃ？まずは実行・・勇気、実行、行動力、決まってまわっとるんやから、経済は、実行した奴だけが・・、明日の朝から実行する、でも借りた日からもう、何日に借りたか知らんけども、1ヶ月過ぎたん？

真田 孔明：

2,000万の2% 笑

メンバー：

今、楽天トリプル、落ちてきてますよ

サッチェル：

知ってます

メンバー：

だから僕も、次もう一発買いたいなと思ってて、もうちょっと落ちないかな

北野会長：

あのね、それもあっとるんやで、正解なんやけど、あれ、基準的にはね、結局、特別分配と普通分配があるから、結局1ヶ月遅く買ったなって思えば、おんなじや

メンバー：

う～ん

北野会長：

あなたが今1ヶ月ほっといても、値段が下がれば一緒、後先一緒、そう思えば、だからあんましその・・細かく考えると上手いかんって事言うとの

メンバー：

ああ～

北野会長：

ね



真田 孔明：

ちびちびちびちび売買したりするのは

北野会長：

そうそう、そういう事してもだから、あれは投資信託は、左側の鞘やから

真田 孔明：

うん

北野会長：

鞘わかる？刀はいっところこう鞘ね？鞘こうやって振り回すもんおらんやろ？

一同：

爆笑

北野会長：

ね

メンバー：

確かに

北野会長：

鞘は、ちゃんとかうやって持っとるが、刀はこう 笑 抜き

真田 孔明：

居合い抜き 笑

北野会長：

わかる？これはずっとここにもっとるんや、こうやって、刀はしまうときにかちゃってこう入れる、これが鞘のやじゃ、ね、そこでほら、誤解しないように

メンバー：

う〜ん、なるほど

北野会長：

だから適温、適所で、ちゃんと腰にきちっとあてとかんといかんよってのは

メンバー：

ああ〜



北野会長：

ね、で刀はこうやっぱ抜かんと、錆びてしまうから 笑 女にちゃんとつかっとる？錆びるよ？
使わないと？

メンバー：

笑

北野会長：

いやいや、おんなじ事なんや、原理は、そう思うてやっぱこう動かして欲しいなとね、俺の話
は簡単やから、まずは金を借りてきて、保温しとくと繁殖、再投資ボタン、あれさえ押しとけ
ば絶対増えていくんやから

真田 孔明：

毎月分配とか今4つあるじゃないですか？会社のやつ？

北野会長：

ああ～

真田 孔明：

あれも適当に4分割みたいなのがいいですかね？それともトリプルちゃんだけ

北野会長：

いやトリプルが一番ね、何か50ヶ月ぐらい持ってるらしいの、予備金を

真田 孔明：

はい

北野会長：

配当予備金みたいなのが

メンバー：

分配余力

北野会長：

あ、分配余力っけ？

メンバー：

はい



北野会長：

俺もだから、色々きいとるんやけど、あんま聞きたくないやつはね、俺、実行犯やから、余って金になっとりゃいいタイプなんやじゃ、そんなね難しい事いっぱい聞いてさ、方程式解きなさいって、俺にしたら方程式があつてさ、答えだけを誰か教えてくれって答えが合うとりゃ合ってるやろ？ってのが俺の考え方

メンバー：

う〜ん

北野会長：

途中はあんまり関係ないやじゃね

真田 孔明：

そんな暇あったら、引っ張ってこいと

メンバー：

笑

北野会長：

正解でした

一同：

笑

北野会長：

結局はね、金ってのは金で回るんやで、あの借りたお金を俺がもつとるやろ？今あんた達、俺がこう金、いやこれくらい持ってんだいとかう積んだら、みんな思うやろ？金持ちやなと思ってさ

メンバー：

うん

北野会長：

ね、おんなじなんやで、俺から言うと、ね、金ってのはもつとりゃ金持ちで財布の中に金もたんだら貧乏人じゃ、ありゃ

メンバー：

う〜ん

北野会長：



で朝からさ、人に会うたびに「金ない金ない」言うの、そういう奴と付き合いたい奴いないの、世の中で、ね、だから金ってのは大事やよって事をいっとる、女でもそやる？お前結構、女に、「いや俺、金ねえんだよね」とか、朝いっとるんでないやろうね？

メンバー：

言っていない、そういうふうに見えるかもしれないけど

北野会長：

見える見えるかも？まあ反対に言えばやで、「お前結婚したんやで、お前きれいやしさ、俺金あまっとるしさ、大丈夫やよ？」毎日言いやさ、相手もさ

真田 孔明：

ま、そういう男性をたぶん探してるんだよね？

メンバー：

「俺、1クリックで300万使えるよ」って人

一同：

爆笑

真田 孔明：

1クリック300万

メンバー：

おお、もっとできるぜって、もう300だ

一同：

笑

メンバー：

え、お前のために300だ

メンバー：

笑

メンバー：

え？お前のためにやって

メンバー：

笑



メンバー：
言葉だけやね

北野会長：
そう

メンバー：
ねえ会長？「きれいやな」、ぽ〜んと押したら、「もう1,500万やぞ」

真田 孔明：
「お前の金だ」って

一同：
笑

メンバー：
でも口座は俺の 笑

真田 孔明：
なるほどね

メンバー：
いずれ共有されて

メンバー：
いや〜それ、ぐらって来ると思うよね？言われながら

北野会長：
そうそう

メンバー：
ね、「どうだ？どうだ？」ってやられたら

北野会長：
いやいや、まそれくらいで、そんなね、深く考える必要ないんやて、金なんてね 笑 わからんやろ？俺、「金あまっとる」いうけど・・・本当信用しとると思うけど、本当は無一文かもしれんやろ？

一同：



爆笑

北野会長：

カードってこんなもん、プラスチックやからね？ 笑

メンバー：

笑

北野会長：

俺はほとんど、現金なんてほとんど持たんから

メンバー：

う〜ん

北野会長：

ね、で本当、つけとカードだけ、俺は信用の下に成り立っとるんやからね、いかに俺が信用があるかや、金の返さん奴ほど信用があるがじゃ、覚えとかれ、なんでかしっとる？貸した人間は取らんなんからさ、だから永遠に信用するんやで、俺がお前、自殺でもしてみらん？ものすごいみんな悲しむやろがいや？

メンバー：

笑

北野会長：

取れんだ言うて？ 笑 そやる？だから俺は生きとるんやて

メンバー：

笑

北野会長：

これがね、皆さんね、わからんと思うんやで、これ頭の中で考えると絶対わからん事なんやから

メンバー：

うん

北野会長：

ね、貸してもらった、まあ俺の言い方は貸してもらった言う

一同：



笑

北野会長：

もらったものは返さない、もうこれくらいだから日本の国に貢献しとる男もおらんわい

メンバー：

うん

北野会長：

返さんだから、42年間、永遠に利息を返しとる

メンバー：

う〜ん

真田 孔明：

元本返したら、お金消滅しちゃうんですもんね？

北野会長：

そうやよ？

真田 孔明：

お金は

北野会長：

だから一番悪いのは、元本の消滅なんや

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

そういう具合に、だから理解、ね、まあいい方が悪い方かね、てんてんの見方やけど、ま、その見方によってね、孔明さんが言う、清く正しく美しくね、まずはベルギー行ってスカートの
中でボタンを押しときゃ

メンバー：

爆笑

北野会長：

お姉さんも喜ぶ、僕も気持ちいい、これが一番いいんやから、お互いに人と人は必ずね、誰かが
支え合って生きとるもんなんや

